

## JR 東海が中央新幹線の総工事費が約 4 兆円増加と公表 直ちに格付への影響はないが、工事進捗などに留意

以下は、東海旅客鉄道株式会社（証券コード：9022）の中央新幹線品川・名古屋間の総工事費についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 10月29日付けで、当社は中央新幹線品川・名古屋間の総工事費が11.0兆円になる見通しと公表した。23年12月に公表した総工事費からは3.96兆円の増加となる。この内訳は、近年の物価等高騰の影響で2.3兆円増（うち将来の工事費上昇に対する予備費が1.0兆円）、山岳トンネルや高架橋などの難工事への対応で1.2兆円増、シールドトンネルなどにおける仕様の深度化で0.4兆円増となっている。また、当社においては、健全経営と安定配当を堅持できない場合には、工事ペースを調整する方針であるとも公表している。
- (2) JCRでは、本件が直ちに格付へ影響を及ぼすことはないと考えている。この判断には、①東海道新幹線の利便性向上などに取り組んできたことから、キャッシュフロー創出力が高まっていること、②今回示された当社の将来キャッシュフローの想定は保守的な前提に基づくものとみられること、③総工事費の増加額には一定の予備費を織り込んでいること、④従来同様、健全経営の方針が打ち出されていることなどを織り込んでいる。ただし、工事完了まで長期にわたることや難易度の高い工事もあることから、引き続き、JCRでは工事進捗や総工事費の動向に留意していく。

（担当）加藤 直樹・下田 泰弘

### 【参考】

#### 発行体：東海旅客鉄道株式会社

長期発行体格付：AAA 見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル